



公園の再生を考える

平成 27 年度

日本造園学会北海道支部大会

シンポジウム

2015 年 10 月 3 日 (土)

14 : 30 - 16 : 30

北海道大学学術交流会館

札幌市北区北 8 条西 5 丁目

詳しくは下記をご覧ください

<http://www.jila-hokkaido.com>

都市公園の数は全国で 10 万箇所を超え、国民一人当りの公園面積も 10 m² を超えました。

しかし、私たちの身近な公園は有効に使われているでしょうか。地域の方々に親しまれているでしょうか。

遊ぶ子ども達がいなくなった公園、高齢者の利用が多くなった公園、あまり利用されなくなった公園が見られます。

人口の減少が始まり、少子高齢化が進展する時代となりました。私たちの貴重な資産である公園についても、地域社会の変容を踏まえ、どのようにすれば暮らしを良くすることにつながるのか、そのためにはどのようにするべきなのかを真剣に考える必要があると思います。

本シンポジウムでは、都市公園の利用実態と課題を再確認し、より良い活用のあり方と再生の方策について考えます。

パネリスト

森田 義寿 氏 (札幌市公園緑化協会)

厚別公園、川下公園、平岡公園など、札幌市内公園の管理運営に長年従事し、公園利用の変化を見つめ、対応している。

北原 良紀 氏 (札幌市役所)

1980 年に札幌市役所入庁以来、札幌市の公園緑地行政に携わり、現在はみどりの推進部長を務めている。

眞鍋 章良 氏

(眞鍋ランドスケープ計画室)

『都市公園再生プロジェクト研究会』(ランドスケープコンサルタンツ協会)に参加。提案書『身近な公園の再生』を作成した。

コーディネーター

大塚 英典 氏 (造園学会北海道支部)